

「さあごらんなさい」

詩篇
マタイによる福音書

第124篇1節～8節
第27章61節、第28章5節～8節

説教 石橋秀雄牧師
(越谷教会牧師、日本基督教団総会議長)

この礼拝において、主の御言葉が響き渡ります。「われらの助けは天地を造られた主のみ名にある。」(詩篇 124篇8節) 週の始まり、一日の始まりにおいてこの御言葉が響き渡ります。神を信じる者の幸いは、全てのことの始まりにこの御言葉が響き渡る、というところにあります。

2011年3月11日午後2時46分、大災害が起こりました。私は4日後の月曜日の朝、被災地を問安しました。あの悲惨な現状を目の当たりにして、一日中ほとんど何も口にできず、言葉を失った時、この詩篇の御言葉が私の心に響いてきました。

この詩篇124篇の御言葉は、多くの人々に慰めを与えてきました。新共同訳聖書では、2節以降はこう続きます。「主がわたしたちの味方でなかったなら／…大水がわたしたちを押し流し／激流がわたしたちを越えて行ったであろう。／そのとき、わたしたちを越えて行ったであろう／驕り高ぶる大水が。」(新共同訳聖書 詩編 124編2節～5節) 主が味方であったが故に、イスラエルには多くの困難が襲って来ました。しかし主が味方であったが故に、信仰を持って生きる者の幸いをも味わいました。同じ様に、もしあの時、主が味方でなかったなら、私はとっくの昔に滅び去っていた、と多くの信仰者が証しをしてきました。

しかし、このような信仰までもが危機に直面する場面があります。今度は主が味方して下さらなかった。大水によって多くの者が押し流されてしまった。そういう経験の中で、それでもあなたは主を信じるのかと信仰が問われる時があるのです。バビロン捕囚という危機の中で、しかし主は、主の民を信仰へと導かれました。それがこの詩篇124篇で告白されている信仰です。日本基督教団も、この大震災の中で、断固たる信仰告白へと招かれています。まさにこの困難の中で、確かに「われらの助けは天地を造られた主のみ名にある。」(124篇8節)と告白するようにと神が迫っておられます。

被災地を訪れるたびに、何度も立ち止まって祈る場所があります。津波で全てが流され、家の土台だけが残された地です。その土台を私は〈悲しみの土台〉と呼んでいます。悲しみだけが思い出される場所です。日本基督教団は〈仙台エマオ〉を基地にしてそこから〈笹屋敷〉という所にボランティアを送り続けています。この笹屋敷に荒浜小学校という小学校があり、そ

の周辺は、本当に土台だけが残る地域です。まさに〈悲しみの底〉、〈絶望の底〉です。私たちにはこの〈悲しみの底〉を真正面から見据えることができるのでしょうか。繰り返しそう問われる中で、マタイによる福音書第27章61節の御言葉が私の心に深く響いてきました。「マグダラのマリヤとほかのマリヤとが、墓にむかってそこにすわっていた。」(61節)

震災1週間後に、東京神学大学の学生たちと一緒に、釜石、大槌、宮古などで祈りを重ねる旅をしました。この旅の間中、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ(わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか)」（マタイによる福音書 27章46節）と十字架の上で叫んで下さった主のお姿を思い起こしながら、主の死を見つめて歩きました。そうして、4月23日(土)を迎えました。翌日は復活祭でした。いつもなら、翌日の復活祭の準備をする日ですが、この年は、墓に納められた〈土曜日のキリスト〉に心を向けて過ごしました。この日、朝日新聞の『天声人語』に詩人島田陽子さんの〈滝〉という詩が掲載されました。穏やかな川の流れのような生活が突然滝となり、落ちて落ちて叩きつけられた奈落に思いがけない平安が待っていた、という詩が、『被災後日本への励ましに思えてならない』と紹介されていました。しかし、十字架の上で叫んで下さった主イエスこそ、私たちのために最も深い奈落に落ちて下さったお方です。そこから、思いもかけない平安を私たちにお与え下さったのです。

墓に向かってすわっていたマリヤたちに、御使は「さあ、イエスが納められていた場所をごらんなさい。」(28章6節)と言いました。悲しみの底を「さあ、ごらんなさい」と言うのです。主がそこから復活して下さり、絶望の底が希望の場所に変ったからです。だからこそ、マリヤたちは、「恐れながらも大喜びで」(8節) 走って行くことができました。この喜びを伝える者として、この悲しみの底から出て行きなさい、と主のお言葉が響いて来ます。イエス様の十字架と復活とによって、私たちも「われらの助けは天地を造られた主のみ名にある。」(詩篇 124篇8節)という断固たる告白へと招かれ、導かれています。一日のはじめに、あらゆる困難に直面する時に、私たちはこの告白を口にし、主を証しする者として歩み始めるのです。

(記 岡村 恒)